

## 第5回地下街と駅周辺地域活性化分科会記録

日 時 平成21年9月18日（金）19：10～20：15

場 所 小田原箱根商工会議所 4階 会員談話室

経 過

前回までに出た意見より引き続き、第5回分科会を行った。主はまちづくり会社の設立と地下街の話を中心として、また、最終11月までの日程が決まり、意見の方向性（まとめ）について意見交換を行った。

### 〈主な意見〉

#### 【関東学院大学の学生との意見交換会について】

- ・地元の関東学院大学法学部の学生と意見交換する機会が設けられ、10月7日（水）19時に日程の確保できた。参加者はゼミ生と先生で9名。時間は2時間程度。
- ・小田原のまちをどう思うか、小田原での生活（ライフスタイル）、中心市街地について、まちの活性化についてなど…学生の意見を聞いてみたい。（議論ではなく）質問形式で、懇談会としたい。
- ・学生には小田原市の市勢と商業の概要を渡している。
- ・事前に質問内容を確認してもらおう。

#### 【まちづくり会社・地下街】

- ・以前からの提言方法（タスクフォースなど）では答申で終わってしまうので、実行する組織（まちづくり会社）を作っていないといけない（言うだけで終わってしまう）。
- ・まちづくり会社については、誰が運営するか、資金調達方法をどうするか（市が3%以上拠出するとか）、補助金をどう引っ張ってくるか、また、ステークホルダーが納得したものを作らないといけない。
- ・地下街が喫緊の課題であるが、地下街だけ掘り下げるのではなく、まちづくり会社があると、（丸亀の様な）色々な事業に活かしやすい。しかし、日程の都合上あれこれやるのは難しい。
- ・とりあえず総論になってしまうが、シミュレーションとして（仮想）まちづくり会社を作って地下街をイメージ出来れば良い。
- ・仮想まちづくり会社を設立して、地下街とかに踏み込んだらどんなイメージになるか？どこをねらうか？（例えば、地下街でもまちづくり会社が全てを運営するのか、それとも一部を運営するのかなど）
- ・まず、具体的に地下街を何とかしてくれ、ということを提言して具体案を作っていきたい。しかし、一つのテーマだと細部を詰めないといけないので、いくつかの概要（総論）をつくり、そして、どうまちづくり会社に関わっていくか？次に進めるための「強い総論」が必要。そうすると各論が進んでいく。
- ・収益事業（行政からの受託事業含めて）の頑丈なフレームを作っていきたい。
- ・行政に商業の話をするよりも、（商業者が）生の話をして、客観的な視点でやった方が良い。

### 【当勉強会の方向性】

- ・現在、全国の「まちづくり会社」の概要（仕組み、事業内容等）について、事務局を中心に松本アドバイザーのフォローを受けながら調査している。10月7日の意見交換会までに情報提供が出来るように作業を進めている。宝塚のまちづくり会社では2年で倒産した（負債総額11.5億円）という事例もある。
- ・中活の方向性として、良いものがあれば認められる。全国ではどんなまちづくり会社があるかを確認して、こんな方向でやったら小田原らしいものができるよね、みたいなイメージを作りあげていきたい。
- ・この勉強会で出た意見は「中心市街地活性化協議会」に答申して、意見がまとまったら誰が何をやるかを市の基本計画に盛り込めるようにしたい（中活協議会について事務局より説明）。
- ・11月までの開催予定は下記の通り、次回は10月7日に関東学院大学生との意見交換会を行う。

	10月	11月
勉強会(全体)	10月19日(月)	11月27日(金)
大学生との意見交換	10月 7日(水)	
B分科会	10月 9日(金)	11月 9日(月)

以上

<当日出席者> \*順不同・敬称略

古川達高、佐藤慎一、石田一夫、中戸川洋、豊住武志、古川孝昭、高橋台一